

令和6年第1回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）

日 時	令和6年2月22日（木） 10時00分～10時35分
場 所	2階大会議室
出席委員	三村副委員長、井形委員、川田委員、後藤委員、高田委員、藤原委員、山田委員
欠席委員	阿知良委員長、加地委員、中村委員
事務局	伊藤教育長、坂口教育部長、太田教育部次長、田中生涯学習課主幹、佐藤生涯学習課主幹、伏見図書館長、谷中生涯学習課課長補佐、佐藤生涯学習課主査

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和6年度室蘭市教育行政方針について

（事務局）

事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員）

私が思うところについて、感想を述べさせていただきたい。「いじめの問題」について、学校も教育委員会も十分に対処しておられると思うが、責任ということを考えるあまり、問題を大きくしてしまうこともあると思う。そこはひとまず置いておいて、とにかく問題を解決するというところに注力していただきたい。それが、早く認知し、対処するということにつながるのではないか。

「だれ一人取り残すことのない教育の推進」について、大変難しいことだと思う。

不登校の心理的な問題や、経済的な問題、身体的な問題など色々なものが含まれていると思う。言葉としては立派だが、実践していくのは難しいという問題をはらんでいるが、仕事としてやっていくしかないということでもよろしくお願ひしたい。

「子ども達と教員が向き合う学習環境の推進」について、どの学校もぜひ取り組んでいただきたいと思う。いじめの発見についても、アンケートだけではなく、教員が子どもと接する時間を多く持つことによって察知することもあるかと思う。ぜひここに大きな力を注いでほしい。

（事務局）

いじめの問題については、子どもだけではなく、保護者や先生なども見ていかなくてはならない。とはいえ我々としては、やはり子どもファーストで、しっかりと考えながら、アンケートについても、出来るだけ書きやすくなるような質問にするなど工夫していきたいと考えているので、今後ご意見等いただければと思う。

（B委員）

「パイロットスクール事業」とは何か。

（事務局）

先進的な取り組みを行う学校を年度ごとに決めて、授業などを研究してもらい、それを市内の学校の先生に広めて、教員の指導力の向上につなげていくような事業となっている。

【日程2】

報告第2号 3月・4月の行事予定について

（事務局）

事務局より説明した。

（質疑応答）

なし

【日程3】

報告第3号 スポーツ施設の進捗状況について

（事務局）

事務局より説明した。

(質疑応答)

(A委員) 所属する団体で初めてアリーナを使用させていただいた。参加者に非常に好評だった。また利用させていただきたい。

次回開催日 令和6年4月11日(木)